

ハローワーク・早期就職支援コーナーでは 3か月以内の再就職を支援しています

ハローワークでは、早期就職を希望される雇用保険受給資格者の方向けに「早期就職支援コーナー」を設置しています。
このコーナーは担当者制による完全予約制の個別支援窓口となっており、以下のような支援を行っています。

- ・ 就職活動における悩みや不安を相談できます。
- ・ 職種に関する相談や、応募書類の添削を行います。

□ 主な支援内容

- ・ 就職支援プログラムに基づく担当者制による就職支援で、求職者の就職への希望、ニーズを把握した上で職業相談します。
- ・ 就職活動に関する情報提供（求人検索方法・労働市場情報の提供）を行います。
- ・ これまでの職務経歴の棚卸し支援をします。
- ・ 履歴書・職務経歴書の個別添削指導を行います。
- ・ 支援対象者のニーズにあった求人の提示と応募する求人の決定を支援します。
- ・ 応募するための模擬面接を実施します。
- ・ 応募・面接が不調に終わった場合、その原因分析と今後の対応を求職者と一緒に行います。

早期就職支援コーナーのご利用は、各ハローワークで
お申し込みください

※早期就職の必要性については裏面をご確認ください。

就職活動は早期に開始し、早期就職を目指すことが大事！

なぜなら

離職後の空白期間（ブランク）が長くなると、よりよい再就職の実現を大きく妨げることになります。

■ 例えば

- ① 企業はブランクを気にする傾向があるので、ブランクは採用可能性を下げます。ブランクが長期化すればするほど就職可能性は急速に低下していきます。この傾向は年齢が上がれば上がるほど、より顕著となります。
- ② ブランクは就職可能性だけではなく、本人の労働市場での価値を低下させます。そのため、就職後の労働条件を大きく引き下げることとなり、希望通りの就職ができなくなる可能性があります
- ③ ブランクは履歴書や職務経歴書を記載する際、また、面接の際にブランク期間があることで就職活動を困難にします。

このほかにも、ブランクによって生活リズムが乱れることなどにより、体調を崩す例も少なくありません。就職活動でのブランクは多くの弊害をもたらします。

そのため

就職活動はなるべく早期に、かつ積極的にいきましょう

早期に就職するためには？

就職活動を行うにあたり、最も重要と考えるポイントは「応募対策」です。具体的には、自己分析や適切な事業所選定、応募書類作成対策、面接対策などです。

**早期就職のために
早期就職支援コーナーを活用してみましょう！**